

新年のごあいさつ



登別市議会議長
成田 昭浩

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

日ごろから議会活動に対し、特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、9月6日に発生した『平成30年北海道胆振東部地震』により、被災地のみならず、北海道経済全体に甚大な影響を及ぼすこととなりました。

また、本市においても外国人観光客の入込数が大きく減少するなど、大きな影響を受けました。

被災されました皆さまには、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、昨年は、市民にとって身近で参画しやすい議会を築くことを課題として、住民参加の促進について議論を重ね、11月には傍聴する際の規則の緩和や車いす対応の傍聴席を設置することなどに取り組みしました。

今年もこれまで以上に『開かれた議会』を目指し、全力で取り組んでいく決意しております。

結びに、市民の皆さまにとりまして、本年もご健勝で明るく、幸せにみちあふれた実り多き年となりますことを心から祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



登別市長
小笠原 春一

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年9月6日に発生した『平成30年北海道胆振東部地震』は、市内において、約2日間に及ぶ停電を引き起こし、市民生活や当市の観光産業に大きな影響を及ぼしました。

停電のさなか、市内の各地区では、市民の皆さまによる自主的な安否確認をはじめ、情報伝達、携帯電話の充電サービスなど、共助の取り組みが精力的に展開されたことは、日ごろの防災への取り組みが発揮された成果として心強く感じております。

本年は、2年に一度の総合防災訓練を鷲別地区で予定しております。多くの市民、多くの関係機関に参加いただき、市全体でさらに防災意識を高めてまいりたいと思います。

また、来年の市制施行50周年をはじめ、民族共生象徴空間の開設、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催などの大きな節目をきっかけとして、将来にわたり住みたい・住み続けたいと思える魅力あるまちづくりに引き続き取り組んでまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多き年であることを心よりお祈りし、新年のごあいさつといたします。